

おおいた土木未来プラン2005

(計画期間:平成18年度～27年度の10年間)

基本理念

「景観十年、風景百年、風土千年」(「風土工学」富士常葉大学:竹林征三)という言葉が表すように、技術が生み出す価値は未来への種であり、それを芽吹かせ、育て、やがてその地の風土となって人々の生活に溶け込んでいくことが社会資本の理想の姿です。

世代を超えて、「関わった人・造った人の想い(生命)がこもり、利用する人々の安全・安心(生命)が守られ、次世代の人々(新しい生命)がその価値を讃える」ような“生命を紡ぐ県土づくり”を進めます。

県土づくりの基本指針

県土づくりにあたって、常に意識しておきたい5つの視点を掲げ、構想計画等の段階から実行していきます。

1. 危機管理体制の充実と総合的な防災対策の推進

平常時からの危機管理意識の醸成と、非常時における迅速な対応、被災した施設の早期復旧に努めます。また、東日本大震災を契機として、ハード・ソフトの両面から総合的な防災対策を推進します。

2. 施設の適切な維持管理の実施

施設の点検履歴付き台帳を整備し、更新時期の平準化、ライフサイクルコストの縮減など適切な維持管理に努めます。

3. 県民参加型行政の推進

構想、計画、実施、管理の各プロセスにおいて、わかりやすい説明を行うとともに、地域と協働した県民参加型行政を推進します。

4. 効率的・効果的な整備の推進

必要かつ緊急を要する施策への重点化を図るとともに、各段階での事業評価を行い、積極てきなコスト縮減に努める一方、品質の確保を図ります。

5. 自然環境との調和と循環型社会への対応

次の世代へ良好な環境を引き継いでいくため、可能な限り自然環境へ及ぼす影響を最小限に止めるよう努めます。

県土づくりの進め方

これまでの成果を明らかにしたうえで、基本理念、基本指針に則した今後の県土づくりを進めるための施策に取り組みます。

1. 安心して生活できる県土づくり

- 土砂災害の防止(生命や財産を守るために)
- 浸水被害の防止(台風や集中豪雨に負けない地域をめざして)
- 地震災害への備え(突然の発生に備えて、地域を守るために)
- 交通安全の推進(安心して利用できる道をめざして)
- 水資源の確保(健全な水循環系の構築をめざして)

2. 交通ネットワークの充実

- 広域交流を支える道路網の形成(より快適に、より便利に、より確実に)
- 地域を支える道路網の充実(より快適に、より便利に、より確実に)
- 海上輸送拠点の充実(産業経済を支え、地域の発展をめざして)

3. 快適な生活環境の創造

- 快適な都市空間の形成(よりよい都市空間をめざして)
- 生活排水対策の推進(子どもたちが遊べるきれいな川や海をめざして)
- 渋滞の軽減(イライラのない交通環境をめざして)
- 住宅環境の向上(すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして)

平成23年度 実施状況

はじめに

県では、大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」の実現に向けた、県土づくりにおける基本的な考え方や方向性、整備の進め方を示した「おおいた土木未来プラン2005」（土木建築部長期計画 以下「プラン」）を平成17年度末に策定し、5年経過した平成23年度に改訂を行いました。

このプランは、平成18年度から27年度までの10年間を計画期間としており、プランの推進にあたっては、毎年度計画のフォローアップを行い、今回6回目として、この『おおいた土木未来（ときめき）プラン2005 平成23年度実施状況』を作成し、各戦略毎の主な取組状況を示しました。また、プランで設定した目標指標について、達成状況等により評価を行い、プランの進行管理を行いました。

なお、目標指標の達成状況や評価結果については、情勢の変化等を勘案しながら今後の土木建築行政に反映し、より効率的・効果的な整備を目指すこととしています。

取組状況について

○各戦略毎の主な取組状況

23年度に完成した箇所やその効果などを例に挙げ、各戦略を達成するために実施した取組を紹介しています。

○目標指標の達成状況

各戦略毎に掲げた23年度の目標値と実績値を比較して『達成率』を明示しています。また、目標指標の最終（27年度）目標に対する到達度合いを『到達度』として明示しています。

○到達度評価

指標の評価は、設定した目標指標をどれだけ到達しているかを示す指標として

①増加目標を設定している目標指標

$$(23年度実績値 - 計画時) \div (27年度目標値 - 計画時)$$

②減少目標を設定している目標指標

$$1 - \{ (23年度実績値 - 計画時) \div (27年度目標値 - 計画時) \}$$

で判定しています。

- ・ 60%以上 (目標を達成している) ~ 達成
 - ・ 50%以上60%未満 (目標を概ね達成している) ~ 概ね達成
 - ・ 50%未満 (目標達成度が不十分である) ~ 達成不十分
- ※プランの計画期間10年のうち6年が経過したことから
6年/10年=60%を達成の目安とする。

達成状況

プラン実行6年目である23年度の評価結果は以下のとおりです。
目標指標はほぼ達成されています。

達成度評価	目標指標数	
達成	16	(80.0%)
概ね達成	1	(5.0%)
達成不十分	3	(15.0%)
計	20	(100.0%)

「^{と き む れ}おいた土木未来プラン2005」平成23年度 実施状況

項目	単位	計画時 (H16)	平成23年度				平成27年度		
			目標値	実績値	達成率	達成率評価	目標値	到達度	到達度評価
安心して生活できる県土づくり									
土砂災害から守られる人家戸数	戸	22,281 (H16)	25,749	25,882	100.5%	達成	26,800	80%	達成
時間雨量50mmに対応できる河川 (河川整備率)	%	38.3 (H16)	40.7	40.1	98.5%	概ね達成	42.0	49%	達成不十分
浸水対策が行われた地域数	地域	(H16)	27	29	107.4%	達成	30	97%	達成
耐震性能を有する住宅の割合	%	68 (H16)	5年毎の住宅土地統計調査の結果により公表 (20年度の実績値 : 70%)				90	-	-
緊急輸送道路における橋梁耐震補強率	%	26 (H16)	59	59	100.0%	達成	90	52%	概ね達成
死傷事故件数	件	7,822 (H16)	6,100	6203	98.3%	概ね達成	5,200	62%	達成
歩行者・自転車の死傷事故件数	件	1,699 (H16)	1,390	1378	100.9%	達成	1,250	71%	達成
県管理道路における法指定通学路の歩道整備率	%	(H16)	67.7	68.3	100.9%	達成	72.0	95%	達成
交通ネットワークの充実									
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域(面積)の割合	%	57 (H16)	68	68	100.0%	達成	70	85%	達成
高速道路ICに概ね到達できる地域(面積)の割合	%	58 (H16)	77	77	100.0%	達成	84	73%	達成
各市町村の中心部まで概ね30分で到達できる地域の割合	%	74 (H16)	76	76	100.0%	達成	77	67%	達成
救命救急センターまで概ね60分で到達できる地域(面積)の割合	%	64 (H16)	77	77	100.0%	達成	82	72%	達成
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	集落		28	34	121.4%	達成	88	39%	達成不十分
港湾の貨物取扱量	百万 ト	119 (H16)	127.9	113.9	89.1%	達成不十分	133	36%	達成不十分
快適な生活環境の創造									
都市内の街路整備	km	535 (H16)	577	596	103.3%	達成	600	94%	達成
土地区画整理 施行面積	ha	2,475 (H16)	2,722	2,800	102.9%	達成	2,863	84%	達成
一人あたり都市公園等面積	m ² /人	10.8 (H16)	12.7	12.7	100.0%	達成	13.0	86%	達成
生活排水処理率	%	58.6 (H16)	68.2	68.6	100.6%	達成	73.1	69%	達成
渋滞対策が必要な箇所数	箇所	22 (H16)	8	8	100.0%	達成	5	82%	達成
バリアフリー化された県営住宅の割合	%	11.2 (H16)	18.0	18.4	102.2%	達成	22.2	65%	達成
高齢者対応の県営住宅の割合	%	21.0 (H16)	27.5	28.0	101.8%	達成	31.0	70%	達成
※1. 達成率算定式 ①増加目標を設定している目標指標 (実績値) ÷ (目標値) ②減少目標を設定している目標指標 (目標値) ÷ (実績値)			達成率	達成率評価	項目数	到達度	到達度評価	項目数	
※2. 到達度算定式 ①増加目標を設定している目標指標 (23年度実績値 - 計画時) ÷ (27年度目標値 - 計画時) ②減少目標を設定している目標指標 1 - (23年度実績値 - 計画時) ÷ (27年度目標値 - 計画時)			100%以上	達成	17	60%以上	達成	16	
			90%以上100%未満	概ね達成	2	50%以上 60%未満	概ね達成	1	
			80%以上90%未満	達成 不十分	1	50%未満	達成 不十分	3	
			80%未満	著しく 不十分	0				
			計		20	計		20	